

重要保管

本紙では、お買い上げいただいた製品についての仕様を記載しております。
ご覧いただいた後も大切に保管してください。

本製品をお買い求めのお客様へ**型名・型番について**

このたびは本製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品は LL550/LG をベースに企画されたモデルです。
本製品に添付のマニュアル等では型名・型番を下記の通り読み替えてください。

	マニュアル等での表記	本 製 品
型 名	LL550/LG	LL550/LG3E
型 番	PC-LL550LG	PC-LL550LG3E

本体仕様一覧について

添付のマニュアル『準備と設定』 - 付録 - 「仕様一覧」の項目は、次のように読み替えてご覧ください。

			マニュアルでの記載	本 製 品
型名			LL550/LG	LL550/LG3E
型番			PC-LL550LG	PC-LL550LG3E
ドライブ	ハードディスクドライブ		約 120GB (Serial ATA、5,400 回転/分)	約 120GB (Serial ATA、5,400 回転/分)
	Windows®システムから認識される容量	Cドライブ/空き容量	約 69GB/約 47GB	約 69GB/約 46GB
入力装置	キーボード		本体一体型(キーピッチ 19mm、キーストローク 3.0mm)、JIS 標準配列(87 キー)、右コントロールキー付き	本体一体型(キーピッチ 19mm 23、キーストローク 3.0mm、はっきりくっきりキーボード)、JIS 標準配列(87 キー)、右コントロールキー付き
	ポインティングデバイス		スクロールボタン付き NX パッド 標準装備	スクロールボタン付き NX パッド (テンキー機能付き 35) 標準装備

23: キーボードのキーの横方向の間隔。キーの中心から隣のキーの中心までの長さ(一部キーピッチが短くなっている部分があります)。

35: テンキー機能はUSBマウス接続時に有効となります。

キーボードについて

本製品では、文字を見やすく、分かりやすくするために英数字を約 1.2 倍太くしたキーボードを採用しています。(キーボードの配列は従来のキーボードと変更はありません。)

853-810924-069-A



810924069A

「スタンバイ レスキュー Lite」について

本製品には、パソコンが正常に起動しなくなったときに、あらかじめコピーしておいたシステムエリアからパソコンを起動することができるアプリケーション、「スタンバイ レスキュー Lite」が搭載されています。

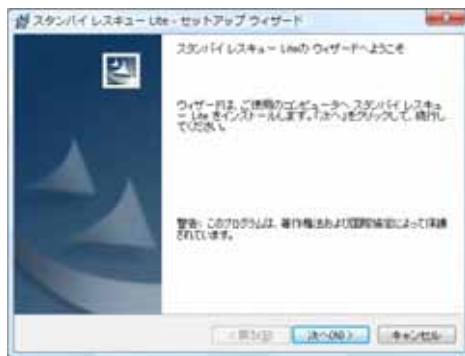
■「スタンバイ レスキュー Lite」のセットアップ

「スタンバイ レスキュー Lite」をお使いになる場合、まずは以下の手順で「スタンバイ レスキュー Lite」をセットアップしてください。

- 1 デスクトップの「スタンバイ レスキュー Lite のセットアップ」アイコンをダブルクリックする



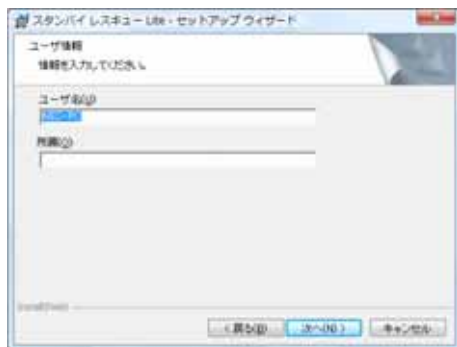
- 2 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、「続行」ボタンをクリックする
- 3 「スタンバイ レスキュー Lite のウィザードへようこそ」画面で、「次へ」ボタンをクリックする



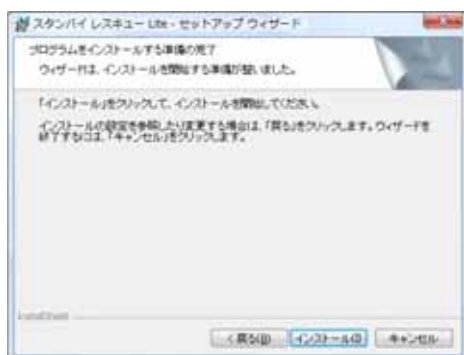
- 4 「使用許諾契約」画面で使用許諾書の内容を確認のうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック



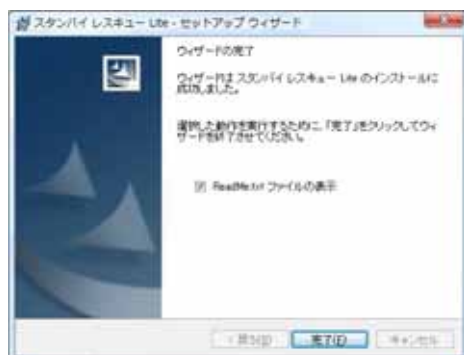
- 5 「ユーザ情報」画面で、必要に応じて「ユーザ名」、「所属」を入力し、「次へ」ボタンをクリック



- 6 「プログラムをインストールする準備の完了」画面で「インストール」ボタンをクリック



- 7 「ウィザードの完了」画面で、「完了」ボタンをクリック



- 8 「ReadMe.txt ファイルの表示」にチェックが付いている場合は、「完了」ボタンをクリック後に ReadMe.txt が表示されるので、内容を確認のうえ、画面右上の「×」ボタンをクリック



以上で「スタンバイ レスキュー Lite」のセットアップは完了です。

■「スタンバイ レスキュー Lite」の使用方法

「スタンバイ レスキュー Lite」を使用するには、システムを保護するための領域(スタンバイエリア)にデータのコピー/更新を行う必要があります。以下の手順でスタンバイエリアへのデータのコピー/更新を行ってください(作業時間は出荷時の状態で約 1 時間)。

・ご注意

Cドライブには、バックアップを取るデータと同量の空き領域が必要になります。

バックアップに必要な領域は、「操作」をクリックして表示される一覧の中の「使用領域の計算」をクリックすると確認できます。使用領域が足りない場合は、Cドライブの不要なデータを削除してください。

どうしてもCドライブの空き領域を増やせない場合は、「共通アイテム」を設定することで、設定したフォルダ/ファイルをバックアップ対象から外すことができます。ただし、共通アイテムに設定したファイルに障害が起こった場合、共通アイテムのデータはバックアップされていないため復旧の対象にはなりませんのでご注意ください。

- 1 デスクトップの「スタンバイ レスキュー Lite」アイコンをダブルクリックするか、「スタート」-「すべてのプログラム」-「スタンバイ レスキュー Lite」-「スタンバイ レスキュー Lite」をクリック

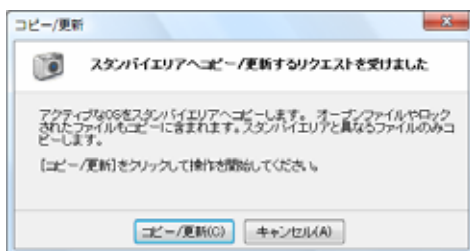


- 2 「はじめに」画面で「はい」をクリック

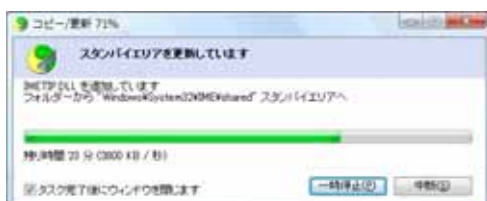
「はじめに」画面が表示されず、「スタンバイ レスキュー Lite」画面が表示された場合は、「コピー/更新」ボタンを押してください。



- 3 「スタンバイエリアへコピー/更新するリクエストを受けました」画面で「コピー/更新」ボタンをクリック



「コピー/更新」ボタンを押すと、以下の「スタンバイエリアを更新しています」画面が表示されます。コピー/更新が終了するまでそのまま電源を切らずにお待ちください。



コピー/更新が終了すると、自動的に「スタンバイエリアを更新しています」画面が終了し、「スタンバイレスキュー Lite」画面の「レスキュー起動日時」、「ボリューム更新日時」が変更されます。



以上でスタンバイエリアのコピー/更新は終了です。

■スタンバイエリアからの起動

「スタンバイ レスキュー Lite」のコピー/更新が完了していると、パソコンが正常に起動しなくなったとき、以下の手順でスタンバイエリアから Windows を起動することができます。

・本機の電源が入っている (Windows が起動している) 場合

「スタンバイ レスキュー Lite」の「操作メニュー」-「今すぐレスキュー起動」をクリックする

・本機の電源が切れている状態

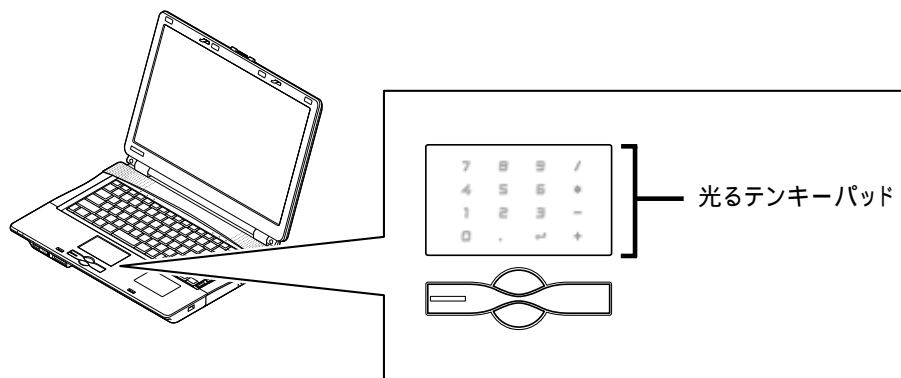
パソコンの電源を入れてしばらくして、「スタンバイエリアから起動を行うにはF1キーを押してください」と表示されている間に、キーボードの[F1]キー（ハートマークのキー）を押すと、「スタンバイエリアから起動してもよろしいですか？ はい(Y) / いいえ(N)」と表示されるのでキーボードの[Y]キーを押す



光るテンキーパッドについて

本製品のNXパッドには光るテンキーパッド機能が内蔵されています。

光るテンキーパッドは出荷時の設定で、USBマウスを本製品に接続した際に有効になります。



■ 光るテンキーパッドの設定

光るテンキーパッドの設定を変更する場合は、以下の手順を行ってください。

- 1 「スタート」-「コントロールパネル」-「マウス」をクリック
「マウスのプロパティ」が表示されます。
- 2 光るテンキーパッドの動作を設定する
それぞれのタブで以下の設定ができます。
 - ・「ボタン」タブ
「左右ボタン」の設定を「テンキーパッドモード切替」に変更すると、NXパッドの左右ボタンを同時に押すことで光るテンキーパッドの有効/無効を切り替えることができます。
 - ・「USBマウス接続時の動作」タブ
「自動的にNX PADを無効にする」等に切り替えることができます。
 - ・「テンキーパッド」タブ
光るテンキーパッドのLED点灯、タッチ音についての設定が可能です。
- 3 設定が終わったら、「OK」ボタンをクリック
これで光るテンキーパッドの設定が変更されます。

その他のNXパッドの説明については、電子マニュアル『サポートナビゲーター』-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「NXパッド」をご覧ください。

■ 光るテンキーパッド使用時のご注意

光るテンキーパッド使用時には以下の点にご注意ください。

- ・光るテンキーパッドはWindowsの起動が完了した(デスクトップの画面が表示された)時点で点灯するようになっています(Windows起動中は点灯しません)。

液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。

また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

：社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を添付マニュアルの仕様一覧に記載しております。ガイドラインの詳細については、以下のWEBサイトをご覧ください。

「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」

<http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html>

パソコンに電源を入れるときのご注意

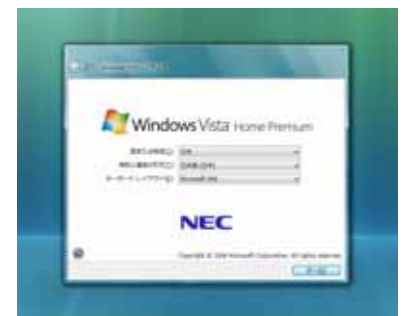
● 初回起動時のご注意

初めてパソコンの電源を入れるときは、必ず添付のマニュアル「**準備と設定**」をご覧ください。

別売の周辺機器はまだ接続しないでください。セットアップが正常に終了できないことがあります。また、バッテリー駆動可能なパソコンであっても、セットアップが完了するまで AC アダプタを抜かないでください。

電源スイッチを押すと数分後に「Windows のセットアップ」画面(右画面) ¹ が表示されます。その間、一時的に(約 1～3 分程度)画面表示が真っ暗な状態が続くことがあります。これは故障ではありませんので、**絶対に電源を切らないでください。**

また、セットアップ完了までには、約 30～50 分かかります(モデルにより時間が異なります)。その間にも自動的に再起動したり、真っ暗な状態が続くことがあります。電源を切ったりせずに、そのままお待ちください。



最終的に「ウェルカムセンター」画面(右画面) ¹ が表示されます。これでセットアップは完了です。次回からパソコンの電源(Windows)を入れると、1～2 分後にはいつもこの画面が表示されるようになります。

1: 表示される画面は、モデルにより若干イメージが異なります。



● 通常の起動時のご注意

電源を入れたり、再起動した直後は、デスクトップ画面が表示された後も、**ハードディスクのアクセスランプが点滅しなくなるまで何もせずお待ちください** ²。長い場合で5分程度(通常の電源 ON は長い場合でも2分程度)になります。

2: ハードディスクのアクセスランプが点滅している間は Windows が起動中です。無理に電源を切ったり、アプリケーションを起動したりすると、動作が不安定になったり、処理が重複して予期せぬエラーが発生することがあります。

電源を切る場合は、添付のマニュアル「**準備と設定**」をご覧くださいの上、「スタート」メニューから電源を切ってください。

再セットアップ方法について

本機では、パソコンをご購入時の状態に戻す方法としてハードディスクから再セットアップする方法を採用しています。この方法は、手順も簡単で比較的短時間で再セットアップができます。

再セットアップディスクをご自分で作成してご利用にもなれます。この方法は市販の DVD-R / DVD+R 媒体または CD-R 媒体を用意し、お客様に再セットアップディスクを作成していただいて、この媒体で再セットアップする方法です。

また、作成済みの再セットアップディスクの販売もしています。再セットアップの方法や再セットアップディスクの作成、購入先については添付のマニュアル「パソコンのトラブルを解決する本」の再セットアップに関する項目をご覧ください。

●再セットアップおよび再セットアップディスク作成時の注意

- ・ 別売の周辺機器(メモリーカード、プリンタ、スキャナなど)を全て取り外してマニュアル「準備と設定」の「接続する」で取り付けした機器のみ接続している状態にしてください。



USB/IEEE1394/PC カードスロット/メモリースロットにハードディスクなどを接続したままやメディアをセットしたまま再セットアップをおこなうと、ハードディスクやメディアのデータが削除されることがあります。また、再セットアップが途中で止まってしまうことがあります。再セットアップが途中で止まってしまった場合は、接続されている機器がないか、メディアがセットされていないか再度確認し、それらが合った場合は、機器を取り外したり、メディアを取り出してください。

- ・ 電話回線ケーブルや LAN ケーブルがつながっている場合は取り外してください。ワイヤレス LAN がある場合はオフにしてください。

●もしものときに備えて

本機には、再セットアップディスクは付属していません。ハードディスクが故障したりハードディスク内にある再セットアップ用データを消去した場合、ハードディスクから再セットアップすることができなくなります。

そのような場合に備え、再セットアップディスク³を作成しておくことをお勧めします。

- 3: 再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では作成できないことがあります。ご購入後、なるべく早い段階での作成をお勧めいたします。